

られた」「女性社員の方が多く、実際に働いている生の声が聞けてよかったです」等の意見がありました。

また企業の参加者からは「参加型の交流祭典で、最近では一番よかったです」「組込み志望で、かつきちんと意識をもって活動している学生ばかりで、非常に有意義な交流ができた」「ゲームを交えて会場の雰囲気が盛り上がった」「他の会社の同期の方と交流できてよかったです」「フランクに会話できる環境だった」「組込み分野に興味のある学生の声を聞くことができ、話題の技術を体験できてよかったです」「来年は採用担当者も参加させたい」等の意見が寄せられました。

アンケートでは次回以降の開催に参考になる、改善点も含めた貴重な意見や指摘が寄せられましたので、更にJASA及び会員企業を含め組込み業界をPRできるイベントとなるよう、来年度に繋げたいと思います。



近畿支部「交流祭典2017」開催報告 ～エンジニア志望の学生と会員企業社員との交流～

昨年10月25日(水)18:00から、3回目の開催となる「交流祭典2017」を開催しました。これはエンジニア志望の学生と、先輩エンジニアである近畿支部会員企業社員との交流を通して、JASA及び組込みシステム業界を広く知つていただこうと企画したイベントです。

会場は大阪駅前第3ビルの33階にある「NORTH SEVEN umeda」で、参加者はJASA会員が54名、学生が20名の合計74名でした。昨年まではテーブル席でしたが、今回はより多くの方と交流できるよう立食形式にし、参加者からも動きやすく多様な交流ができたと好評でした。

交流祭典に先立ち、JASA研修委員会の荒木委員長による学生を対象とした「組込みシステム業界研究セミナー」を行いました。これはET/IoT展やET/IoT West展で行っているセミナーで、交流祭典では初の試みです。

乾杯の後、しばらくは企業と学生に交流いただきました。名札を学生、若手社員(社会人3年未満)、それ以上の社員と色分けだったので、分かりやすく交流に役立ったとの声

が多くありました。会の途中には会員企業が展示会で行った顔写真のマッチングを活用して、各社の代表者と学生のマッチングを行い、大変盛り上がりました。

終了後にお願いしたアンケートによると、学生からは「企業の方から興味深いお話を伺えて、非常に勉強になった」「良い意味で予想と違って、気さくな方々が多くて楽しかった」「組込みの分野でこれからどのような事について考えていくべきかがわかった」「企業の方々の実際の体験談を聞くことができ、自分の目指している業界について学ぶことができた」「企業の方々との会話は普段できないことなので、とても貴重な機会を得